

まちの話題

6月27日[Thu]

長年の議会功績により、山本茂雄さん旭日小綬章受章



▲賞状と勲章を手にする山本さん（中央）と、横尾市長（右）、野北議長（左）

春の叙勲で山本茂雄さん（北多久町）が長年にわたる地方自治功勞による旭日小綬章を受章され、横尾俊彦市長、野北悟市議会議長を表敬訪問されました。

山本さんは多久市議会議員として、平成11年4月から令和5年4月まで6期24年在職し、平成23年から令和3年まで議長を務め、福祉や教育環境の向上、交通基盤、住環境の整備などに精力的に取り組み、市の発展に大きく尽力されました。

山本さんは「地域社会の発展の一助になればという思いで職務に専念してきました。関係各位のご支援のたまものです」と受章の感想を述べられました。

7月6日[Sat]

「FUNAYAMA MOUNTAIN」オープン！



▲オープンを記念して笑顔の柴村代表取締役（右）、諸富公昭会長（中央）、横尾市長（左）

多久市西部に位置する船山の中腹にオートキャンプ場「FUNAYAMA MOUNTAIN」が完成しました。このキャンプ場は多久市が官民活力導入と官民連携推進をめざして船山キャンプ場の売却に係る公募型プロポーザルを実施し、昨年1月、モロドミ建設株式会社が敷地を購入。温水の洗い場やシャワールームを完備した「FUNAYAMA MOUNTAIN」としてリニューアルされました。

柴村英男代表取締役は「昭和35年に開業された歴史ある船山キャンプ場を私たちがしっかりと引き継いで、多くの人に利用していただけるようこれからがんばっていききたい」とあいさつされ、横尾俊彦市長は「ぜひ多くの人にご利用いただき、九州自然歩道のそばで緑豊かな自然を楽しみながら英気を養ってほしい」と話しました。

7月20日[Sat]

第2回 多久古代蓮まつり



▲暑さの和らいだ夜、涼やかに踊りを楽しみました

「多久古代蓮まつり」（主催：多久古代蓮まつり実行委員会）の第2回目が降雨による1週間の延期後、晴れやかに開催され、会場の多久市物産館「朋来庵」南側のお火たき広場が多くの人でにぎわいました。

たくさんの提灯や竹灯籠が飾られた会場では、市内外で活動する5つのよさこいチームによる演舞も披露。最後は観客も一緒に輪になって「多久古代蓮おどり」を踊りました。

由紀流日本舞踊練舞会の甲斐藍子名誉会長は「趙勇さんが弾く揚琴の音色とともに、私たちが創作した踊りを踊るのは多久ならではの、次回はさらに多くの人に参加してくださいとうれしいです」と笑顔で話されました。

